



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社グルメ杵屋

上場取引所 東

コード番号 9850 URL <https://www.gourmet-kineya-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表執行役社長 CEO (氏名) 椋本 充士

問合せ先責任者 (役職名) 管理部担当執行役 CFO (氏名) 藤本 昌信

TEL 06-6683-1222

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	13,048	35.3	592		620		809	
2022年3月期第2四半期	9,645	4.2	1,567		1,535		85	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 767百万円 (%) 2022年3月期第2四半期 11百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	35.37	
2022年3月期第2四半期	3.76	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	38,162	8,313	21.1	351.55
2022年3月期	40,173	9,081	22.0	385.55

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 8,041百万円 2022年3月期 8,819百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		0.00	0.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期の配当予想につきましては未定であります。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,501	39.7	126		96		119	76.7	5.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期2Q	22,910,275 株	2022年3月期	22,910,275 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期2Q	36,144 株	2022年3月期	36,144 株
------------	----------	----------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	22,874,131 株	2022年3月期2Q	22,702,790 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これからの予測数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一昨年より続く新型コロナウイルス感染症がワクチン接種の普及や営業規制がなくなったこと及び渡航制限の見直し等により、人流が活発化しつつあり、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、緩やかに景気の持ち直しの動きがみられております。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化や中国における経済活動の抑制の影響などが懸念される中で世界的な物価上昇や供給面での制約に加え、金融資本市場の変動等による下振れリスク等もあり、先行きは依然不透明な状況となっております。

外食産業におきましても、原材料やエネルギー価格の高騰や人件費の上昇を始めとする様々なコストの上昇、在宅勤務の増加や大人数での会食の自粛傾向といった消費者のライフスタイルの変化、また、新型コロナウイルス感染症第7波の影響により活発化しつつあった人流が再度一時停滞を余儀なくされたこと等により、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような状況の中、当社グループは新しいグループビジョン「おもてなしで付加価値の創造を紡ぐ」を掲げ、新しい付加価値を提供する持続可能な企業として取り組んでまいります。ウィズコロナ、アフターコロナを見据え引き続き事業構造の再構築を行うとともに、各事業において新たなマーケットの開拓を進めてまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高130億48百万円（前年同期比34億3百万円増）、営業損失5億92百万円（前年同期は営業損失15億67百万円）、経常損失6億20百万円（前年同期は経常損失15億35百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失8億9百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益85百万円）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(レストラン事業)

レストラン事業においては、新規及びブラッシュアップした既存ブランドの出店の加速による店舗収益力の改善を推進するとともに、店舗の省人化・効率化等の業務改善に取り組んでおります。

その結果、新店はアジア部門その他業態においてコリアンキッチン「シジャン」2店舗及びジェラート専門店「solege」2店舗、(株)壺番亭本部において「壺番亭」1店舗、(株)雪村において「めん商人」1店舗及び「雪村餃子無人直売所」6店舗の合計12店舗であり、退店は10店舗であります。この結果、当第2四半期連結会計期間末におけるレストラン事業の店舗数は、36都道府県に409店舗（フランチャイズ店舗101店舗を含む）となりました。

以上の結果、レストラン事業の売上高は94億3百万円（前年同期比38.1%増）、セグメント損失1億8百万円（前年同期は10億23百万円の損失）となりました。

(機内食事業)

(株)エイエエスケータリングにおいては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う渡航制限の見直しが始まったものの未だ航空会社の著しい減便は続いており、ウクライナ情勢もあり厳しい状況ではありますが、増収増益となりました。

以上の結果、機内食事業の売上高は5億76百万円（前年同期比19.3%増）、セグメント損失1億50百万円（前年同期は1億96百万円の損失）となりました。

(業務用冷凍食品製造事業)

(株)アサヒウェルネスフーズにおいては、季節品のおせち及び冷凍弁当等の製造が増加したことから増収となりましたが、材料費及び人件費を始めとするコストの増加により減益となりました。

以上の結果、業務用冷凍食品製造事業の売上高は14億11百万円（前年同期比24.5%増）、セグメント損失1億35百万円（前年同期は47百万円の損失）となりました。

(不動産賃貸事業)

不動産賃貸事業においては、大阪木津卸売市場の入居率はほぼ前年同期並みであり、不動産賃貸事業の売上高は3億44百万円（前年同期比0.4%減）、セグメント利益1億23百万円（前年同期は1億6百万円の利益）となりました。

(運輸事業)

水間鉄道(株)においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を徹底したうえで沿線地域でのイベントの開催等に取り組むことで旅客数が増加し、増収増益となりました。

以上の結果、運輸事業の売上高は1億97百万円（前年同期比10.7%増）、セグメント損失21百万円（前年同期は34百万円の損失）となりました。

(その他)

大阪木津卸売市場で展開しております水産物卸売事業は、魚介の卸売数量が増加したことから増収増益となりました。日本食糧卸(株)で展開しております米穀卸売事業は、販売数量が増加したことから増収増益となりました。

以上の結果、その他の売上高は11億13百万円（前年同期比60.9%増）、セグメント損失9百万円（前年同期は57百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は143億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億71百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金20億62百万円及び未収入金10億11百万円の減少、商品及び製品10億27百万円及び売掛金3億27百万円の増加によるものであります。固定資産は238億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億39百万円減少いたしました。これは主に投資その他の資産のその他に含まれる保険積立金3億54百万円の減少によるものであります。

この結果、総資産は、381億62百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億10百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は79億3百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億82百万円増加いたしました。これは主に短期借入金及び一年内返済予定の長期借入金6億30百万円の増加、未払法人税等3億46百万円の減少によるものであります。固定負債は219億45百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億25百万円減少いたしました。これは主に長期借入金12億7百万円及び長期未払金3億円の減少によるものであります。

この結果、負債合計は、298億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億42百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は83億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億67百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失8億9百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は21.1%（前連結会計年度末は22.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月13日に発表いたしました連結業績予想の数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,425,796	10,363,116
預け金	430,027	403,139
売掛金	985,085	1,312,513
商品及び製品	484,453	1,512,053
原材料及び貯蔵品	229,969	253,650
短期貸付金	2,502	2,200
未収入金	1,167,629	156,471
未収消費税等	17,179	137,399
その他	148,738	179,447
貸倒引当金	△992	△973
流動資産合計	15,890,390	14,319,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,232,836	28,237,617
減価償却累計額	△20,800,497	△20,862,709
建物及び構築物(純額)	7,432,339	7,374,908
機械装置及び運搬具	3,109,454	3,288,383
減価償却累計額	△2,271,261	△2,346,926
機械装置及び運搬具(純額)	838,192	941,456
工具、器具及び備品	1,919,322	1,958,223
減価償却累計額	△1,532,997	△1,535,746
工具、器具及び備品(純額)	386,324	422,477
土地	8,198,815	8,210,084
建設仮勘定	89,175	15,091
有形固定資産合計	16,944,847	16,964,018
無形固定資産		
のれん	328,177	295,458
その他	204,450	188,332
無形固定資産合計	532,628	483,790
投資その他の資産		
投資有価証券	1,481,195	1,379,551
長期貸付金	64,762	125,704
差入保証金	4,541,377	4,469,571
繰延税金資産	192,096	256,088
その他	544,252	183,235
貸倒引当金	△18,438	△18,438
投資その他の資産合計	6,805,247	6,395,712
固定資産合計	24,282,723	23,843,521
資産合計	40,173,113	38,162,540

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	748,645	830,284
短期借入金	500,000	1,430,000
1年内償還予定の社債	60,000	30,000
1年内返済予定の長期借入金	3,537,444	3,237,604
未払金	421,776	363,043
未払費用	1,114,342	1,135,935
未払法人税等	373,148	27,118
未払消費税等	281,293	233,063
賞与引当金	172,765	172,460
資産除去債務	107,152	119,424
その他	304,388	324,413
流動負債合計	7,620,955	7,903,349
固定負債		
長期借入金	19,388,205	18,180,431
長期未払金	308,056	8,056
繰延税金負債	1,570,603	1,571,913
退職給付に係る負債	121,577	120,217
資産除去債務	1,272,446	1,268,816
その他	810,205	796,550
固定負債合計	23,471,095	21,945,986
負債合計	31,092,050	29,849,335
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,838,236	100,000
資本剰余金	6,796,490	12,534,726
利益剰余金	△3,952,550	△4,761,602
自己株式	△35,381	△35,381
株主資本合計	8,646,795	7,837,743
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	184,785	188,971
為替換算調整勘定	△11,772	15,269
退職給付に係る調整累計額	△670	△495
その他の包括利益累計額合計	172,342	203,746
非支配株主持分	261,925	271,715
純資産合計	9,081,063	8,313,204
負債純資産合計	40,173,113	38,162,540

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	9,645,559	13,048,817
売上原価	6,217,620	8,107,817
売上総利益	3,427,939	4,940,999
販売費及び一般管理費	4,995,194	5,533,102
営業損失(△)	△1,567,255	△592,102
営業外収益		
受取利息	129	479
受取配当金	33,287	22,581
投資有価証券売却益	37,134	-
賃貸料収入	95,595	86,895
その他	37,210	47,012
営業外収益合計	203,357	156,968
営業外費用		
支払利息	74,524	87,649
借入手数料	1,100	1,000
賃貸費用	59,402	57,905
持分法による投資損失	29,060	22,494
その他	7,525	16,697
営業外費用合計	171,612	185,747
経常損失(△)	△1,535,510	△620,881
特別利益		
固定資産売却益	552	-
投資有価証券売却益	97,373	-
助成金収入	2,183,327	57,750
受取補償金	-	85,160
保険解約益	6,916	50,117
その他	-	1,095
特別利益合計	2,288,169	194,123
特別損失		
固定資産除却損	4,931	45,865
減損損失	2,791	6,588
新型コロナウイルス感染症による損失	419,119	360,738
その他	14,271	4,732
特別損失合計	441,113	417,924
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	311,544	△844,682
法人税等	227,918	△34,713
四半期純利益又は四半期純損失(△)	83,626	△809,968
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,795	△917
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	85,421	△809,051

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	83,626	△809,968
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△94,407	4,832
為替換算調整勘定	△1,515	30,209
退職給付に係る調整額	550	174
持分法適用会社に対する持分相当額	324	7,104
その他の包括利益合計	△95,049	42,320
四半期包括利益	△11,422	△767,648
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△9,120	△777,648
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,302	10,000

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	311,544	△844,682
減価償却費	533,751	515,953
減損損失	2,791	6,588
のれん償却額	32,719	32,719
長期前払費用償却額	13,729	11,472
賞与引当金の増減額(△は減少)	△127,245	△304
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,658	△18
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,754	△1,185
受取利息及び受取配当金	△33,417	△23,060
支払利息	74,524	87,649
助成金収入	△2,183,327	△57,750
受取補償金	-	△85,160
保険解約損益(△は益)	-	△50,117
投資有価証券売却損益(△は益)	△134,508	-
持分法による投資損益(△は益)	29,060	22,494
固定資産除却損	4,931	45,865
固定資産売却損益(△は益)	△552	-
売上債権の増減額(△は増加)	203,178	△299,961
棚卸資産の増減額(△は増加)	△948,537	△1,051,280
仕入債務の増減額(△は減少)	△153,240	82,079
未払費用の増減額(△は減少)	△89,052	21,627
未収消費税等の増減額(△は増加)	274,750	△120,219
未払消費税等の増減額(△は減少)	70,662	△48,229
長期未払金の増減額(△は減少)	-	△300,000
その他	77,523	△11,922
小計	△2,035,300	△2,067,444
利息及び配当金の受取額	33,417	23,060
利息の支払額	△74,127	△87,707
助成金の受取額	1,881,130	866,787
補償金の受取額	-	85,160
法人税等の支払額	△178,832	△227,166
営業活動によるキャッシュ・フロー	△373,712	△1,407,310
投資活動によるキャッシュ・フロー		
補助金の受取額	68,836	82,905
有形固定資産の取得による支出	△273,567	△604,698
無形固定資産の取得による支出	△14,151	△2,973
長期前払費用の取得による支出	△12,531	△1,555
店舗撤去に伴う支出	△135,547	△54,967
有形固定資産の売却による収入	632	-
投資有価証券の取得による支出	△33,035	-
投資有価証券の売却による収入	220,054	115,882
貸付けによる支出	△400	△57,747
貸付金の回収による収入	7,713	1,501
差入保証金の差入による支出	△20,620	△54,854
差入保証金の回収による収入	380,232	126,156
保険積立金の積立による支出	△18,431	-
保険積立金の払戻による収入	133,308	402,587
その他	△430	985
投資活動によるキャッシュ・フロー	302,062	△46,778

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,000,000	930,000
短期借入金の返済による支出	△700,000	-
長期借入れによる収入	3,210,000	287,800
長期借入金の返済による支出	△1,757,676	△1,796,413
社債の償還による支出	△145,000	△30,000
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△280,630	-
配当金の支払額	△1,692	△224
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△4,799	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,320,200	△608,838
現金及び現金同等物に係る換算差額	△25	246
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,248,525	△2,062,679
現金及び現金同等物の期首残高	6,773,743	12,425,796
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,022,269	10,363,116

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

2022年6月28日開催の定時株主総会決議により、会社法第447条第1項の規定に基づき、2022年8月31日付で減資等の効力が発生しており、資本金の額を5,738,236千円減少させ、その他資本剰余金へ振り替えております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食 事業	業務用冷凍 食品製造 事業	不動産 賃貸事業	運輸事業	計				
売上高										
一時点で移転される財	6,810,663	483,416	1,134,252	—	87,896	8,516,228	692,471	9,208,699	—	9,208,699
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—	90,932	90,932	—	90,932	—	90,932
顧客との契約から生じる収益	6,810,663	483,416	1,134,252	—	178,828	8,607,160	692,471	9,299,631	—	9,299,631
その他の収益	—	—	—	345,928	—	345,928	—	345,928	—	345,928
外部顧客に対する売上高	6,810,663	483,416	1,134,252	345,928	178,828	8,953,088	692,471	9,645,559	—	9,645,559
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1,585	8,105	—	13,848	23,539	281,077	304,617	△304,617	—
計	6,810,663	485,002	1,142,357	345,928	192,677	8,976,628	973,548	9,950,177	△304,617	9,645,559
セグメント利益又は損失(△)	△1,023,347	△196,794	△47,648	106,715	△34,010	△1,195,085	△57,855	△1,252,941	△314,314	△1,567,255

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△314,314千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	レストラン 事業	機内食 事業	業務用冷凍 食品製造 事業	不動産 賃貸事業	運輸事業	計				
売上高										
一時点で移転される財	9,403,963	576,680	1,411,623	—	104,129	11,496,397	1,113,964	12,610,362	—	12,610,362
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—	93,768	93,768	—	93,768	—	93,768
顧客との契約から生じる収益	9,403,963	576,680	1,411,623	—	197,898	11,590,166	1,113,964	12,704,130	—	12,704,130
その他の収益	—	—	—	344,686	—	344,686	—	344,686	—	344,686
外部顧客に対する売上高	9,403,963	576,680	1,411,623	344,686	197,898	11,934,853	1,113,964	13,048,817	—	13,048,817
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	4,836	6,318	—	14,996	26,151	335,863	362,015	△362,015	—
計	9,403,963	581,517	1,417,942	344,686	212,894	11,961,004	1,449,828	13,410,832	△362,015	13,048,817
セグメント利益又は損失(△)	△108,342	△150,539	△135,606	123,930	△21,095	△291,653	△9,599	△301,253	△290,848	△592,102

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、水産物卸売事業及び米穀卸売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△290,848千円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. その他の収益は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。